



六甲山小学校だより

仲良く遊び
共に学び
進んで行動する子

5月号

安全・安心な六甲山教育に向けて

先日は、お忙しい中、授業参観・学級懇談会・PTA 総会へのご参加、ありがとうございました。今年度は新学習指導要領移行期の2年目であること、また昨夏の高温等の異常気象を受け、「特色ある六甲山での教育活動」につきまして修正を加えております。その中で3つの教育活動について詳細をお知らせします。

まず行事についてです。1学期、最も大きく変わるのが全校キャンプです。昨年度までは春先に、YMCA を利用して実施しておりましたが、今年からは、7月に自然の家にて行うことになりました。春から夏に季節が変わり、また場所も変更になるということで実施プログラムも大きく変える予定です。穂高湖でのカヌー体験、掬星台が近いのでナイトハイクをしながら、100万弗の夜景を見に行くこともできます。観望会も実施できます。ただ、ひとつ問題なのが、登山です。昨年度、観測史上稀に見る猛暑でした。それを受けて今まで以上に学校に熱中症対策が求められています。そのような中で参考になる基準として環境省から出ている「熱中症予防情報サイトにおける暑さ指数」というものがあります。暑さ指数とは、気温、湿度、日射からの輻射熱の3つを取り入れた指標です。これによりますと、気温が24℃未満の場合は、熱中症の危険度は小さいとのことですが、24～28℃になりますと熱中症が重篤化する可能性が出てきます。31℃以上になると激しい運動は中止レベルになります。気候によって登山の実施が難しいことが予測されるため、今年度から標高の高い摩耶山上付近での活動が中心になります。【参考】7月中旬の神戸の平均気温(最高30℃、最低24℃)

もう一つがプール水泳です。昨年までは、鶴甲小学校と青陽東養護学校の2校で実施してきました。青陽東養護学校のプールは屋内型のため、雨天時等にはとてもありがたい施設ですが、昨年度のような猛暑になるとその気密性故に気温が40℃以上、水温も30℃近くになります。日本水泳連盟の水泳指導教本によると「水温+気温」が65℃以上では遊泳には不適とされています。そういうこともあり、本年度より、プール水泳は全て、鶴甲小学校をお借りすることにしました。

次に学習面です。昨年度幼稚園が進めてきた地域の方々との連携した学習を小学校低学年にも拡大していきます。新学習指導要領の生活科の中にも「地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考える」「季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見つけることができ・・・中略・・・それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする」とあります。子供たちの人間形成は、学校だけでなく家庭、そして地域との連携で行われるものです。長きにわたって六甲山上にお住まいになっているの方々から昔の遊びを教えてもらったり、昔の学校の様子や暮らしについてお話をうかがったり、さらには地域に伝わるお祭りなどのお話を伺ったり、見学したりする中で、地域の方々との関わることの楽しさが分かり、さらには自分たちが通うこの六甲山についてより見聞を深め、この六甲山をもっともっと大好きになってほしいと考えます。何より地域の方々との顔見知りになることは防災教育の根本でもあります。

保護者の皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

森澤 克行